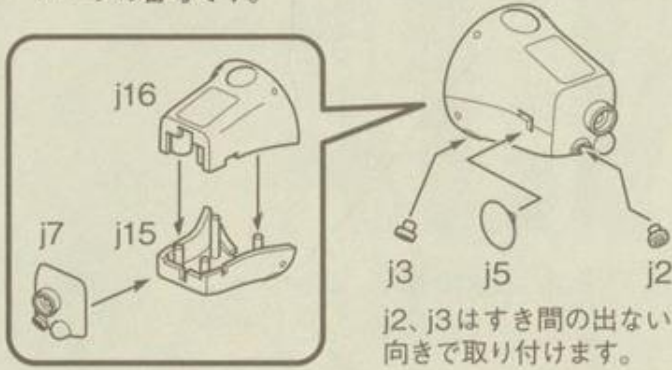


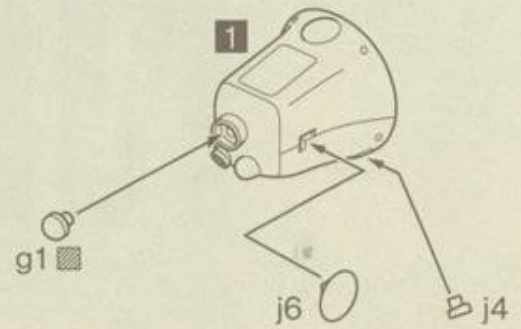
# 1 HIGH-SPEC ENEMY SEEKER

※組立説明書の( )内は反対側に使用するパーツの番号です。

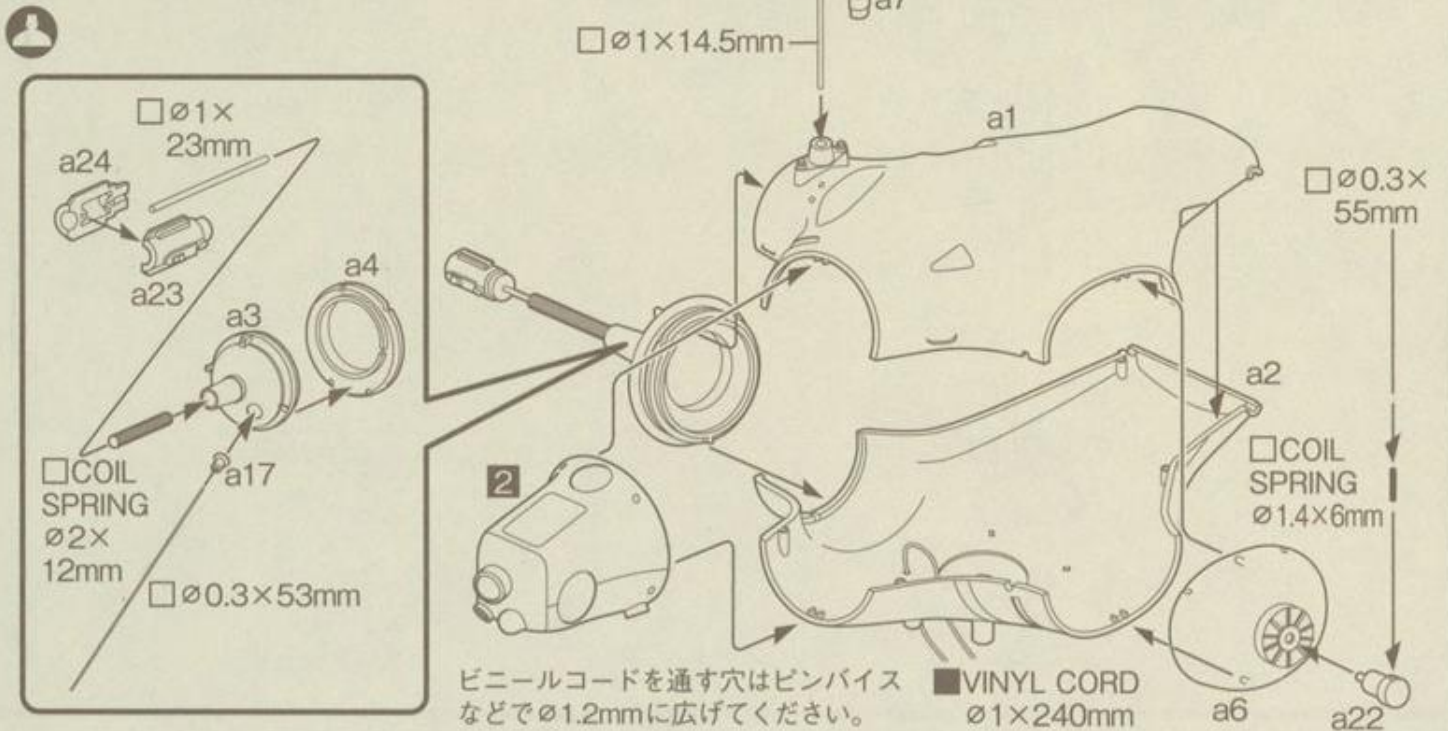


# 2 HIGH-SPEC ENEMY SEEKER

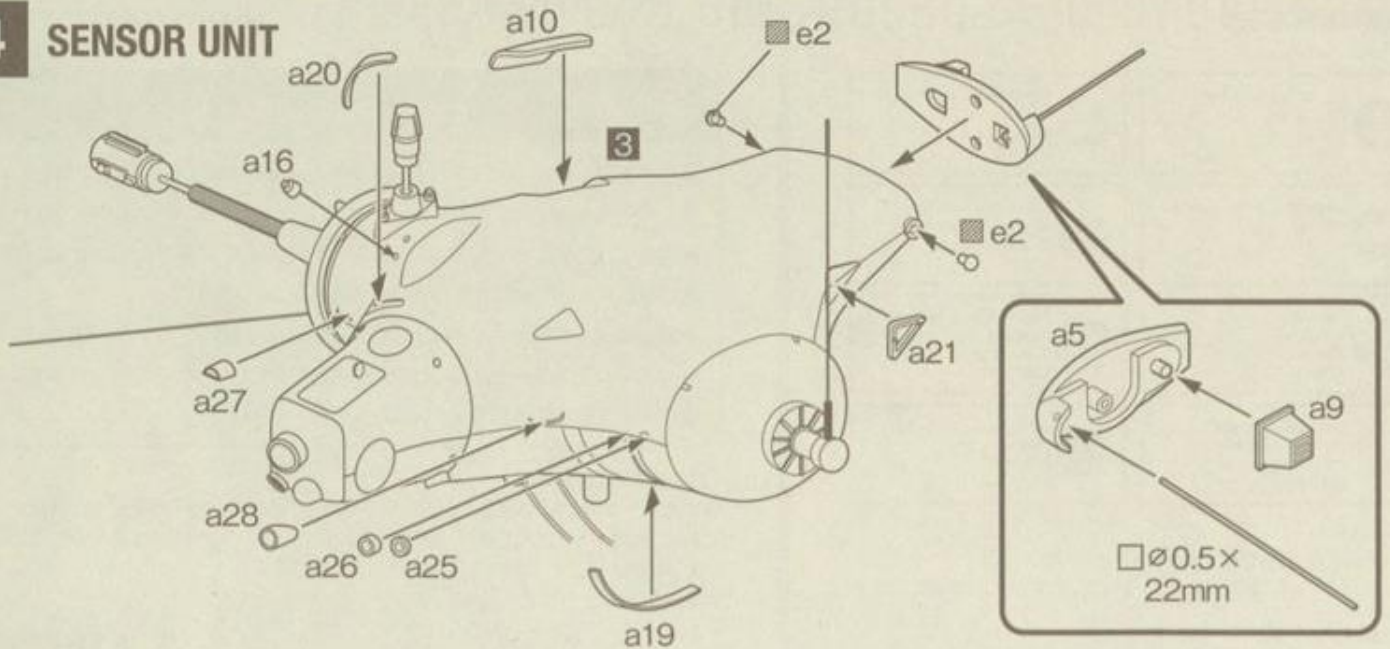
j4はすき間の出ない向きで取り付けます。



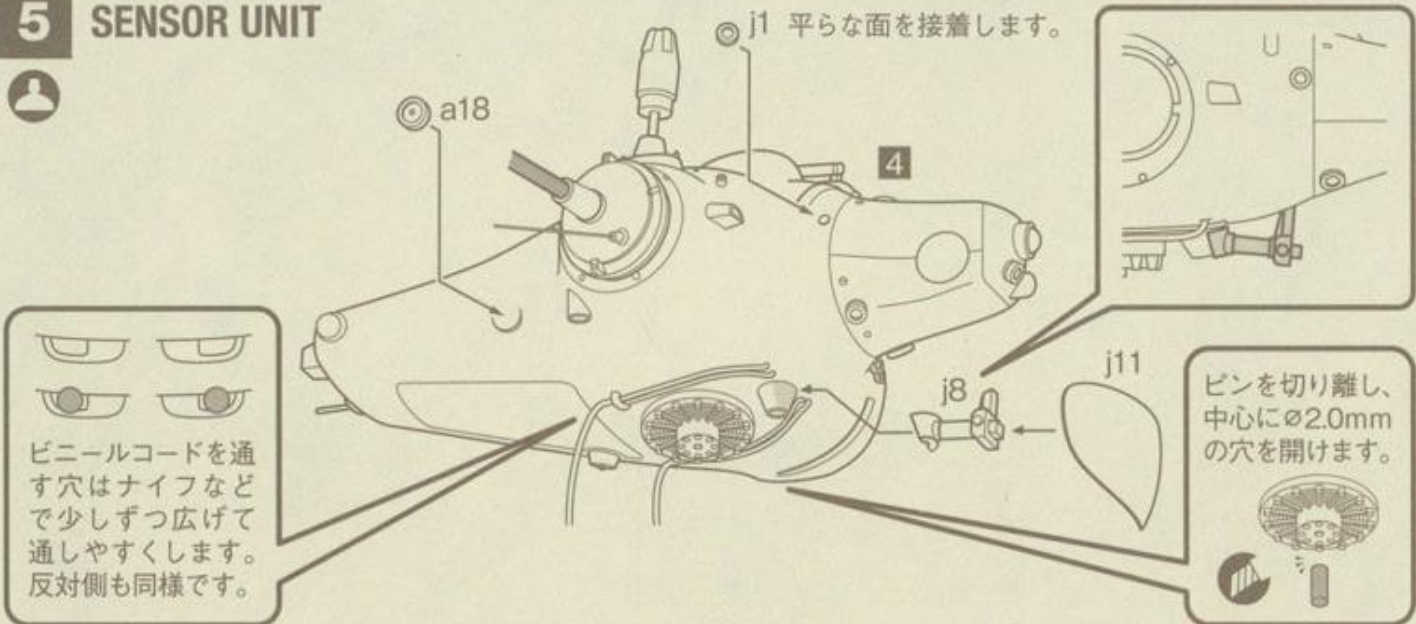
# 3 SENSOR UNIT



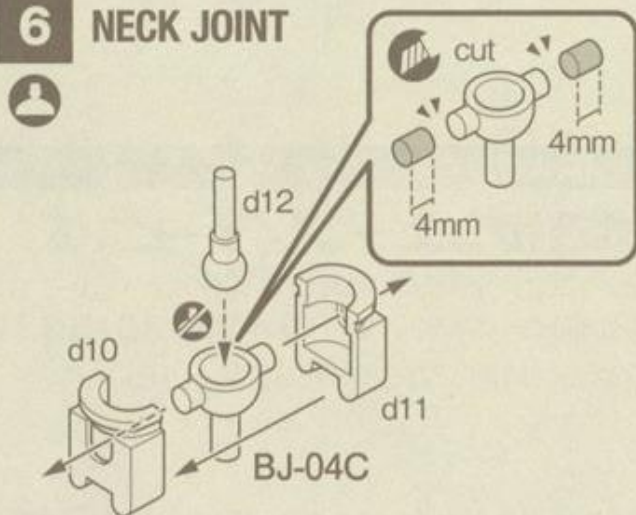
# 4 SENSOR UNIT



## 5 SENSOR UNIT



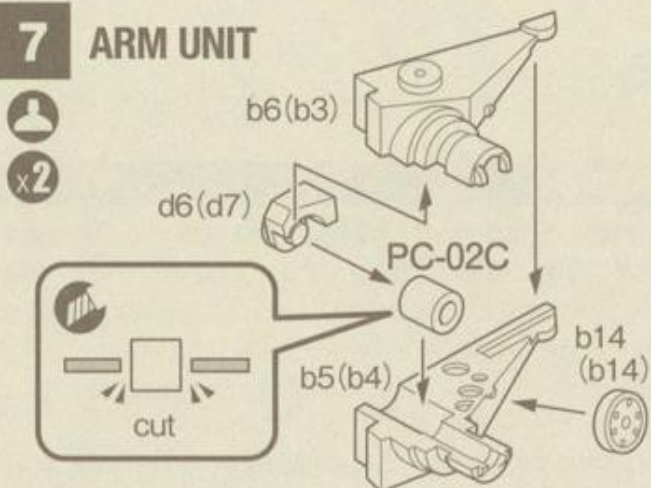
## 6 NECK JOINT



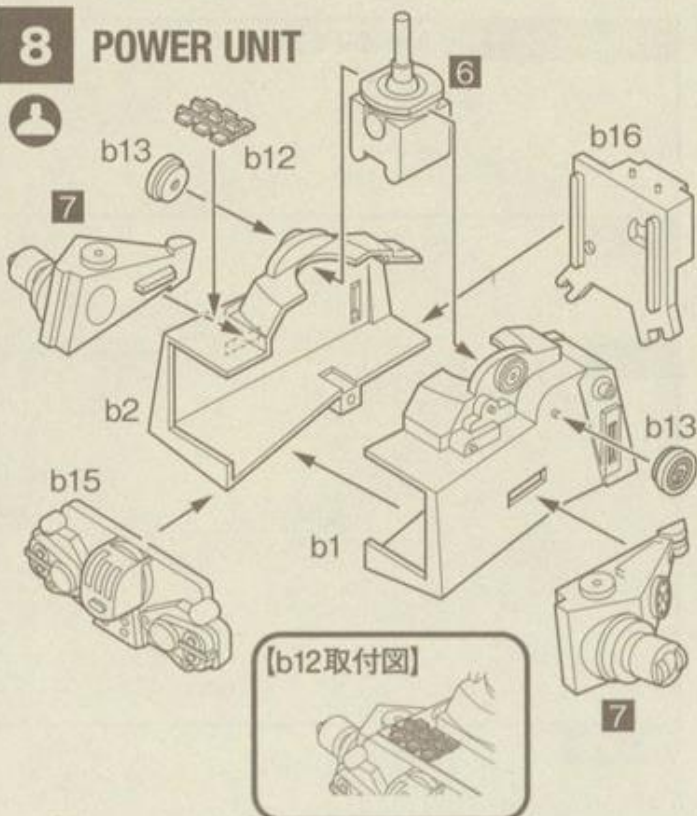
## 7 ARM UNIT



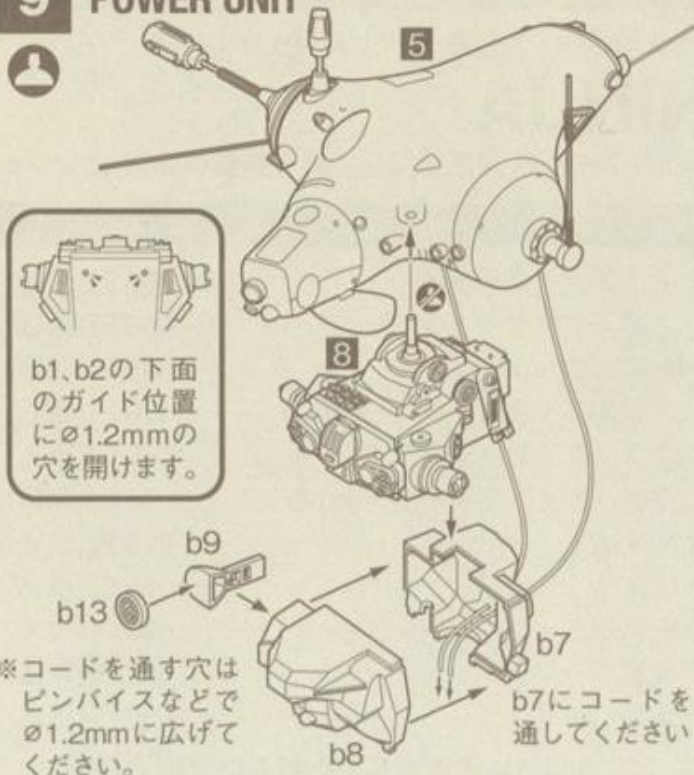
x2



## 8 POWER UNIT

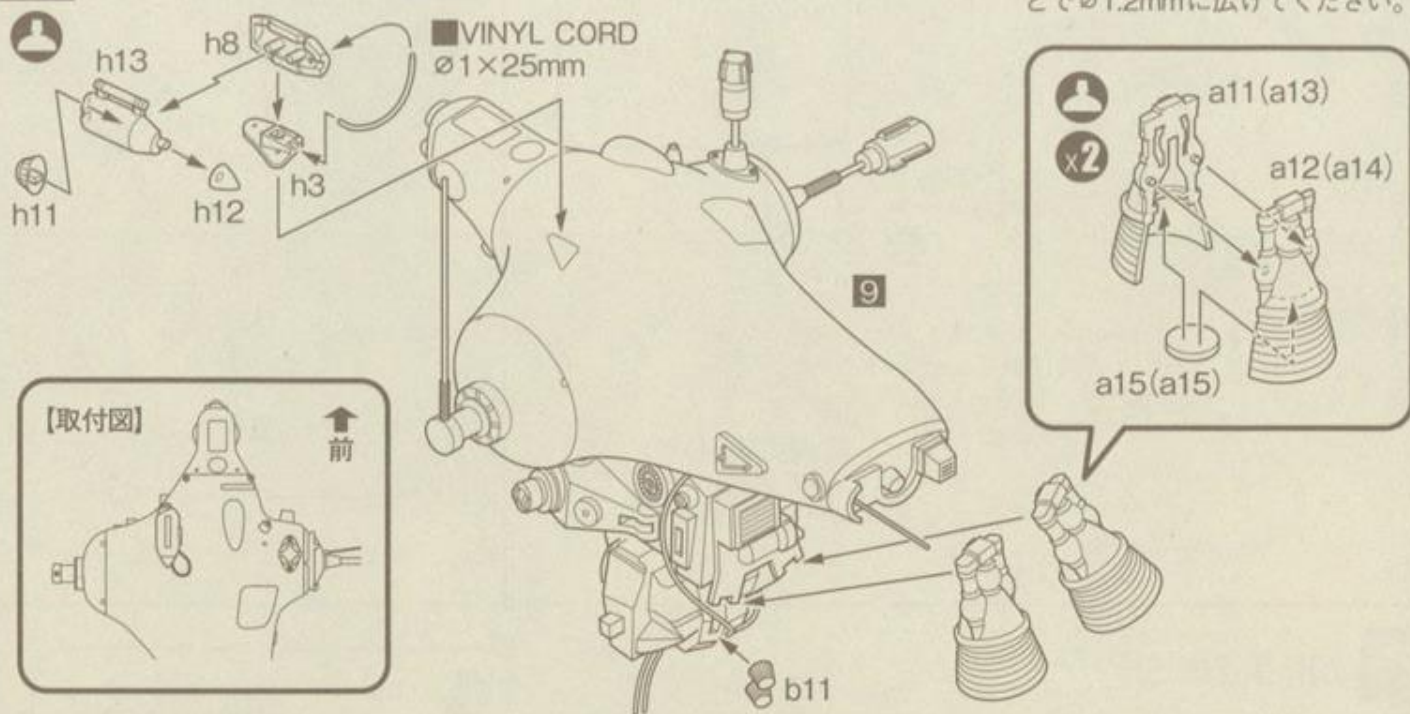


## 9 POWER UNIT

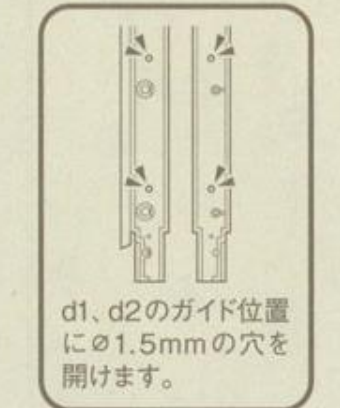
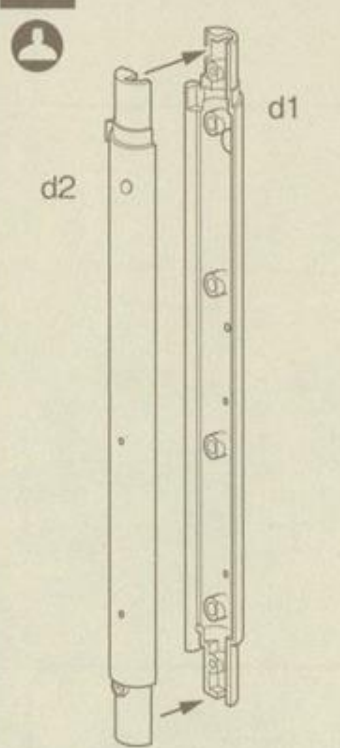


# 10 SUB SEEKER & ROCKET BOOSTER

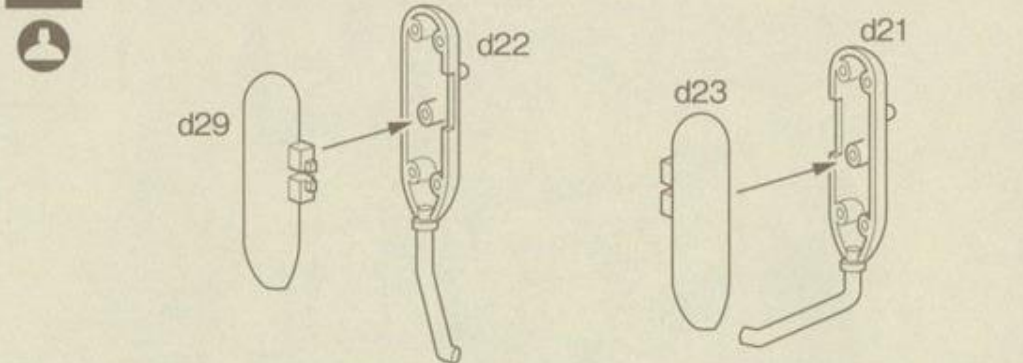
コードを通す穴はピンバイスなどで $\phi 1.2\text{mm}$ に広げてください。



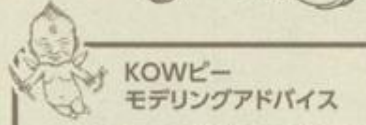
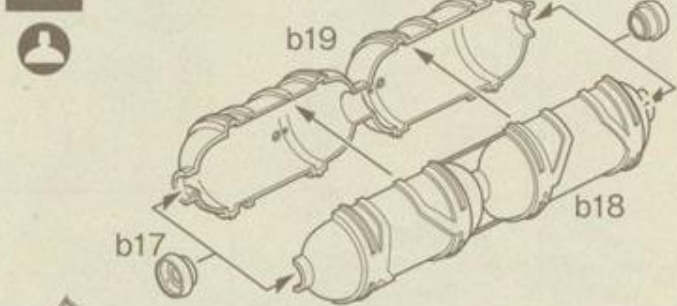
# 11 SUPPORT UNIT



# 12 LIQUID NITROGEN CYLINDER

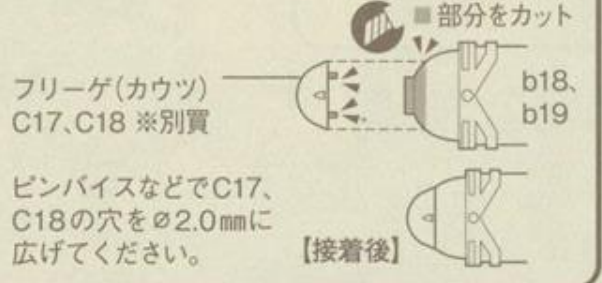


# 13 ANTI-GRAVITY UNIT

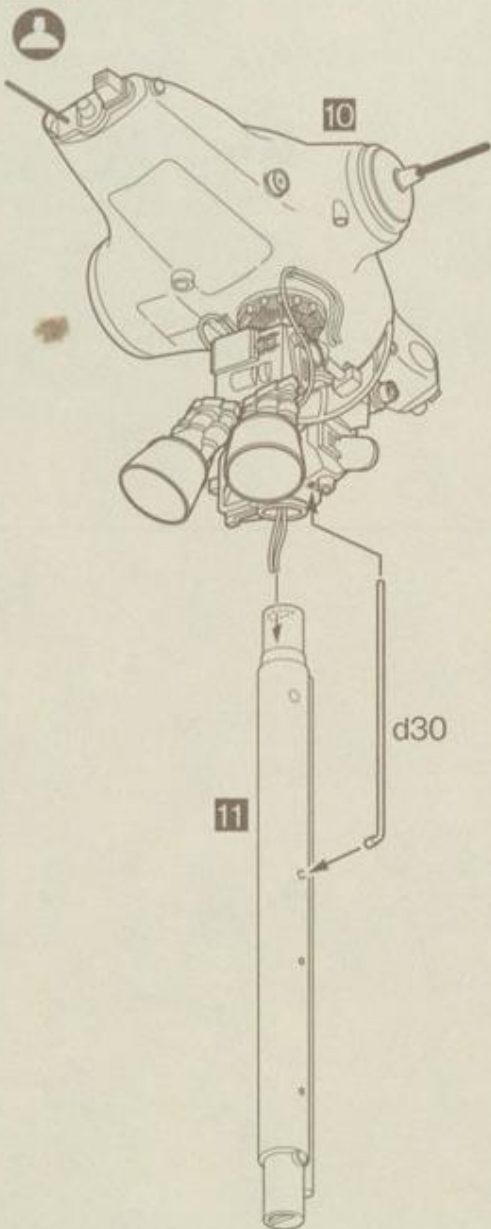


アンテナスタビライザーの基部をオリジナルモデルと同じ形状にしたいときはb18、b19とウェーブ製1/20フリーゲ(カウツ)のC17、C18を加工します。接着面の直径が同じになるようそれぞれのパーツをカットします。

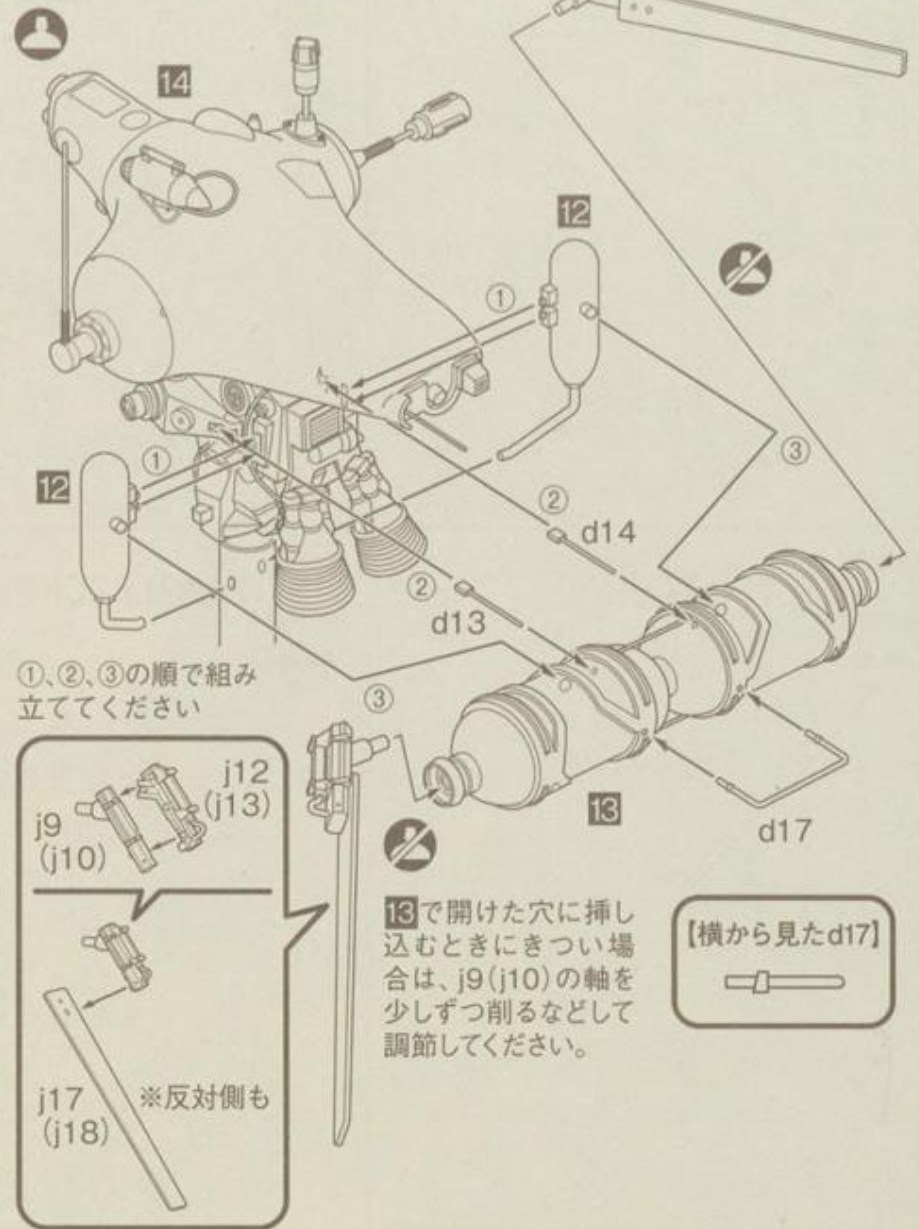
## アンテナスタビライザー基部の改造



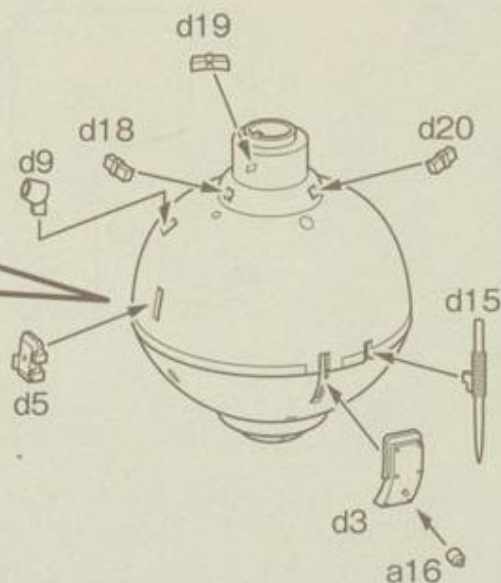
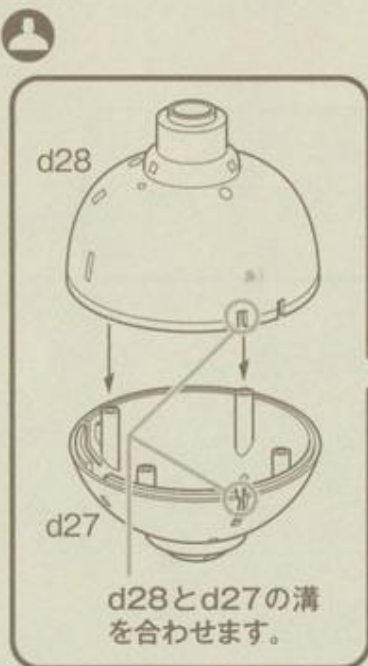
## 14 SUPPORT UNIT



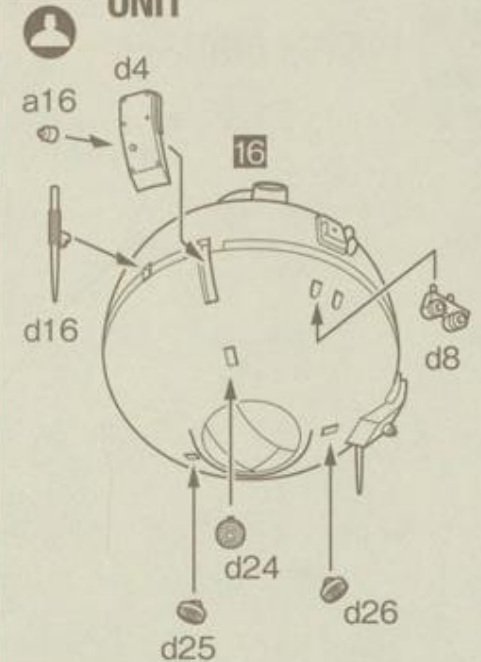
## 15 POWER UNIT



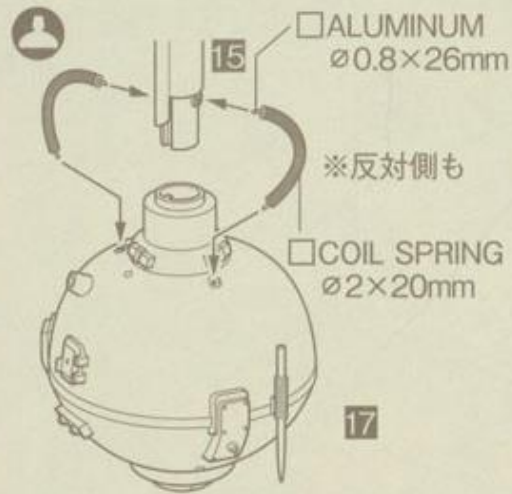
## 16 ANALYSIS MEMORY UNIT



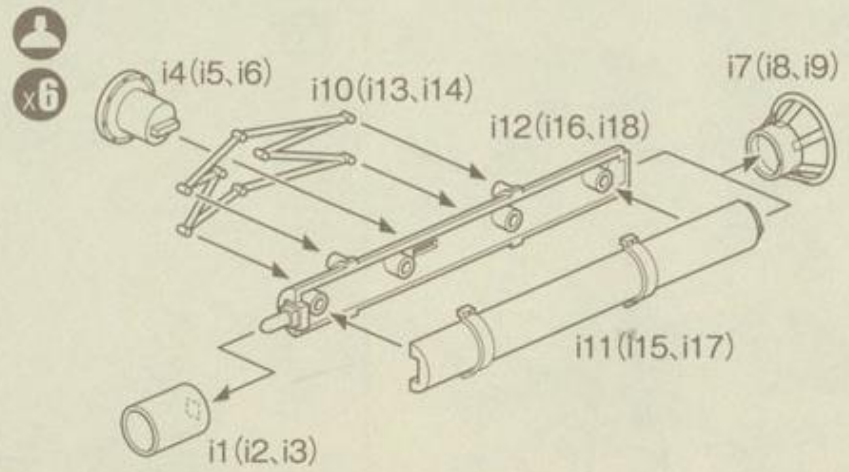
## 17 ANALYSIS MEMORY UNIT



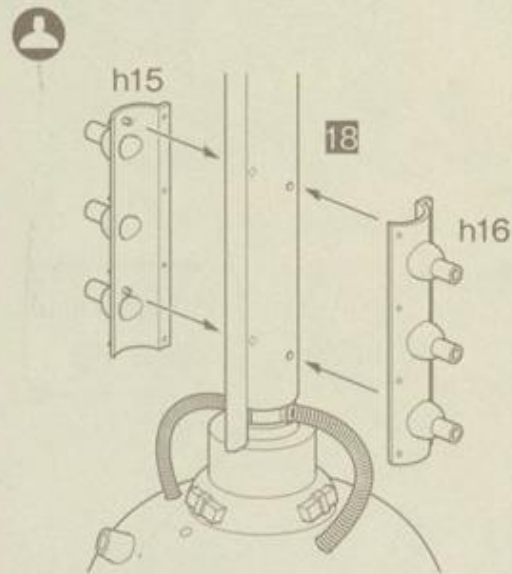
## 18 ANALYSIS MEMORY UNIT



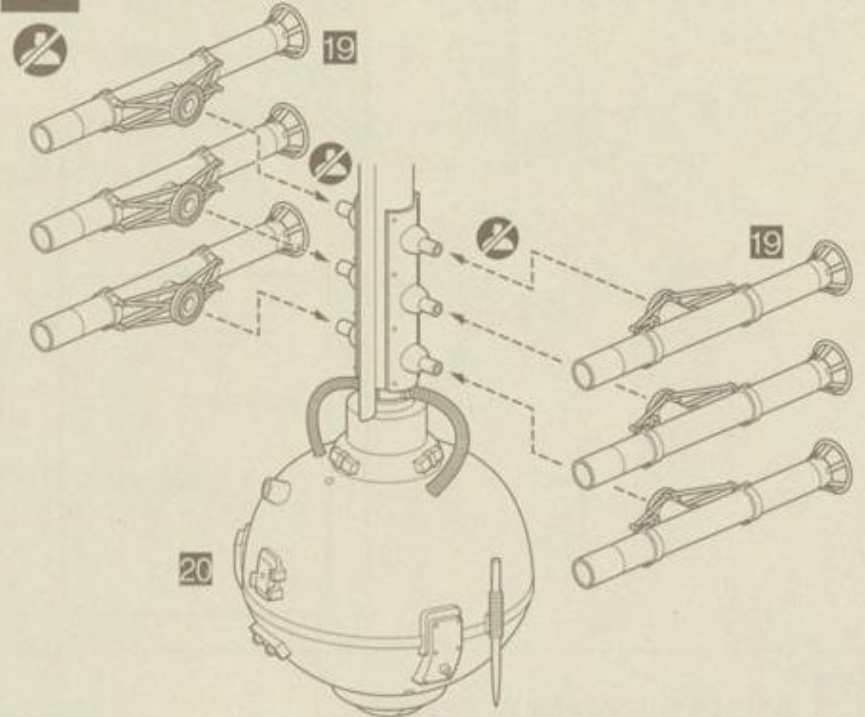
## 19 PANZERSCHRECK



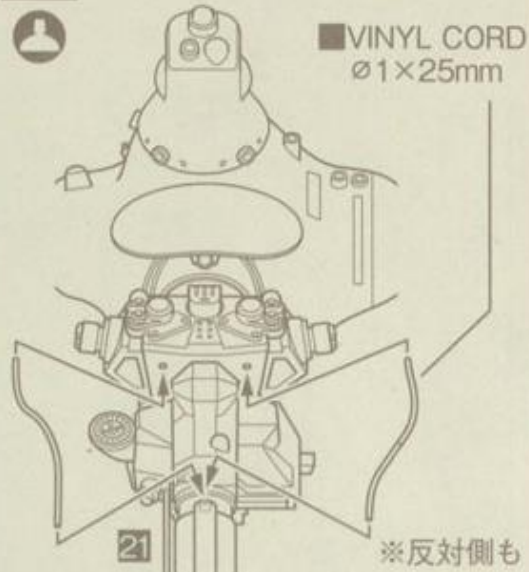
## 20 SUPPORT UNIT



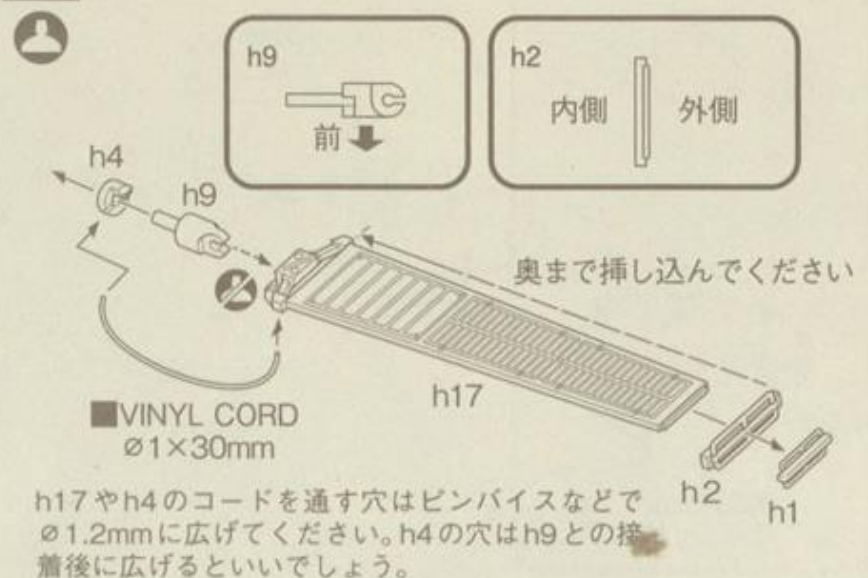
## 21 PANZERSCHRECK



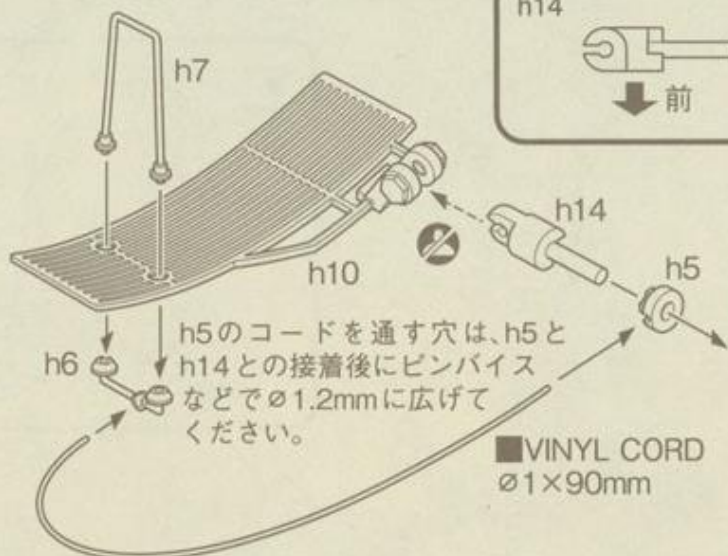
## 22 POWER UNIT



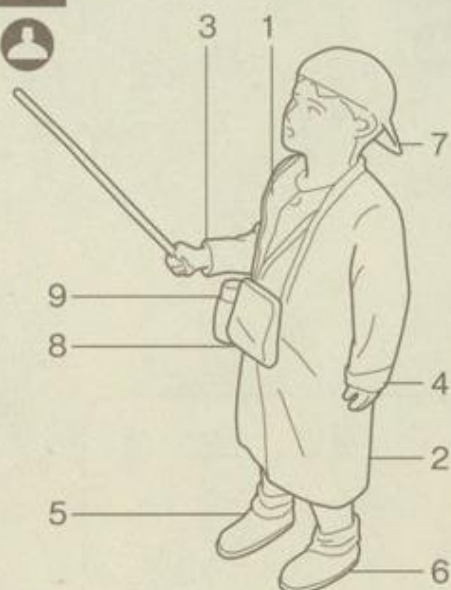
## 23 JAMMING PLATE



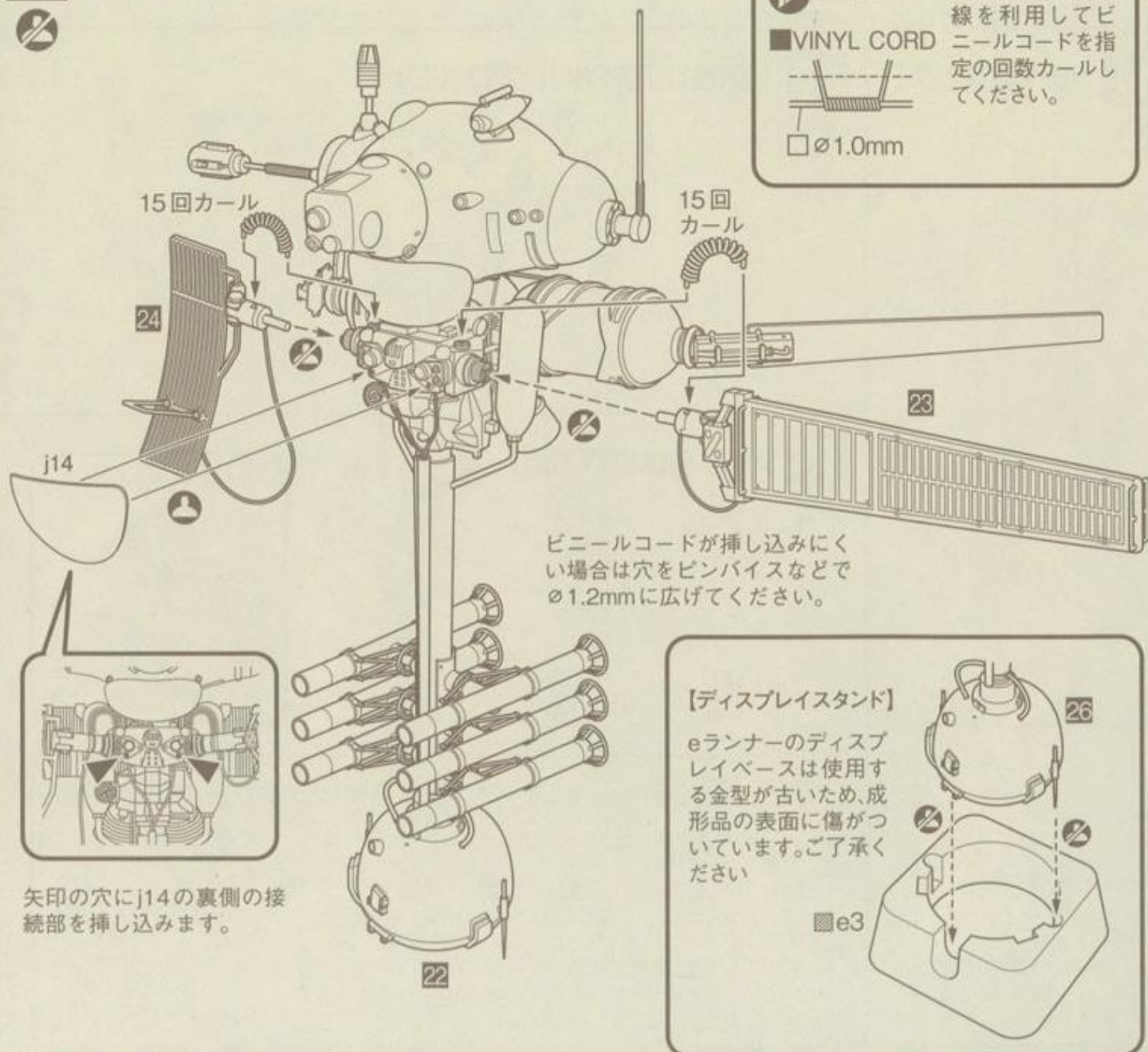
## 24 RADAR



## 25 EDDIE AMSEL



## 26 NINJA FINISH

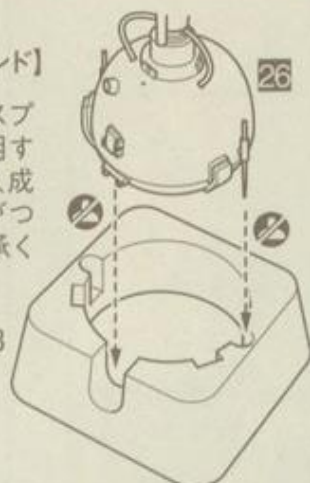


矢印の穴にj14の裏側の接続部を挿し込みます。

### 【ディスプレイスタンド】

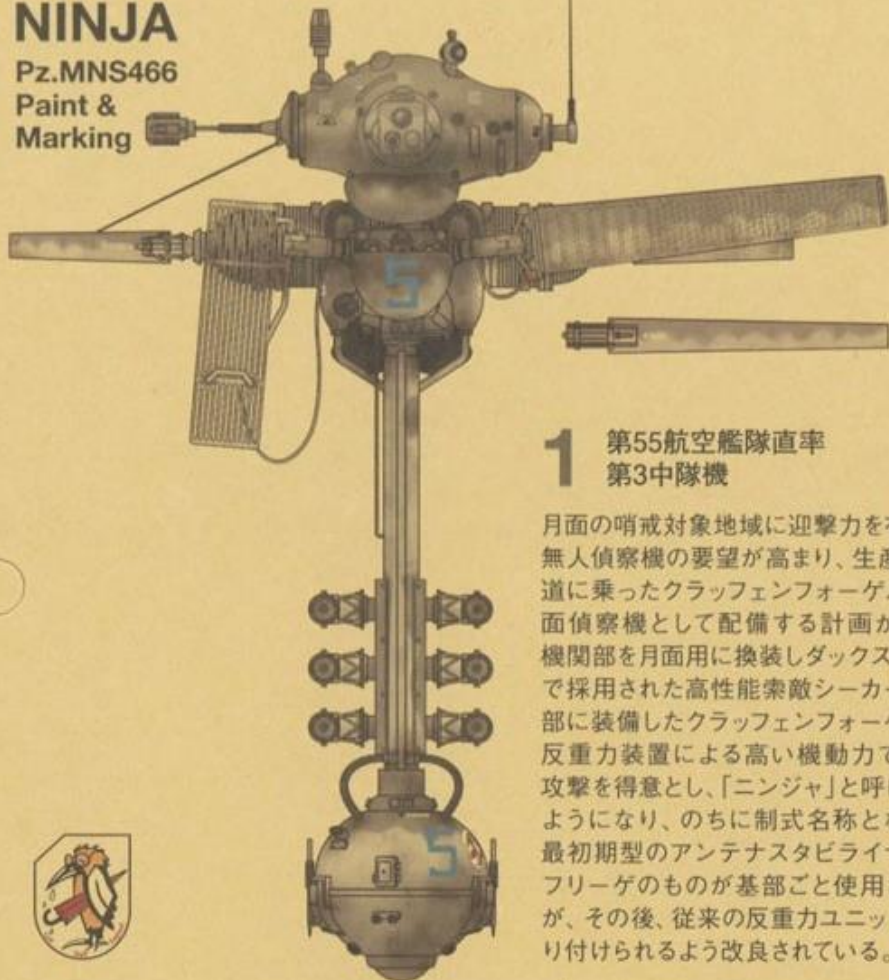
eランナーのディスプレイベースは使用する金型が古いため、成形品の表面に傷がついています。ご了承ください

■e3



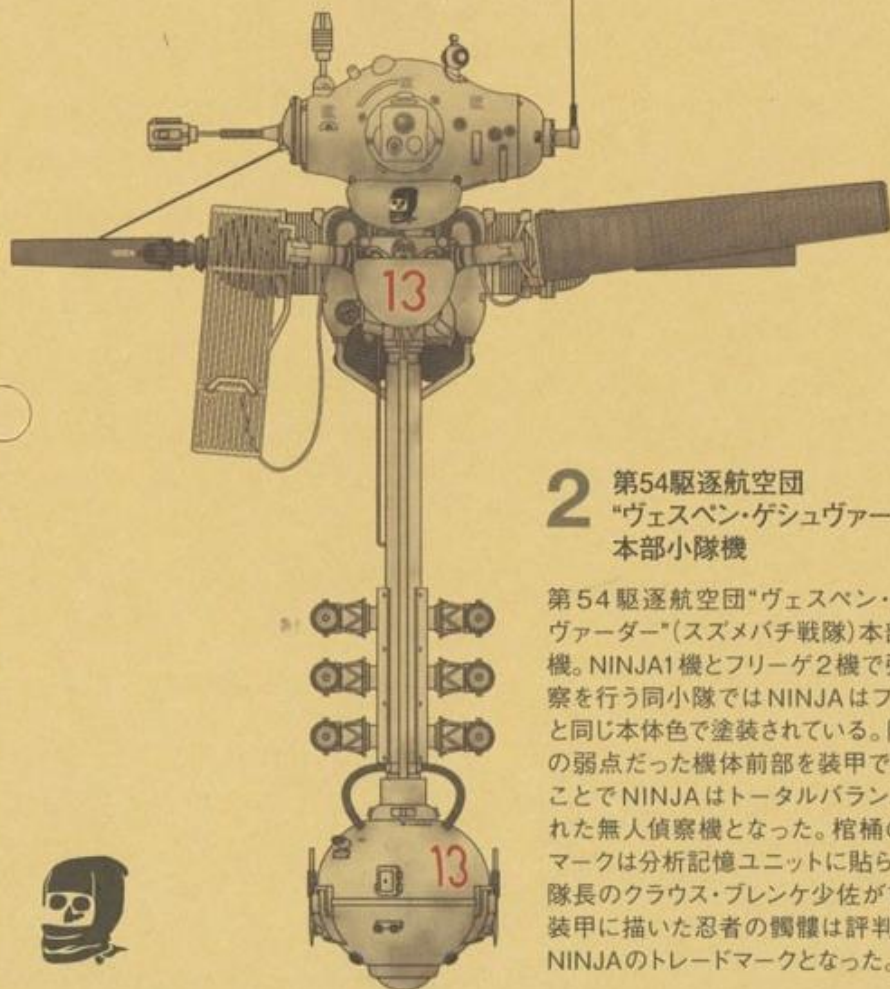
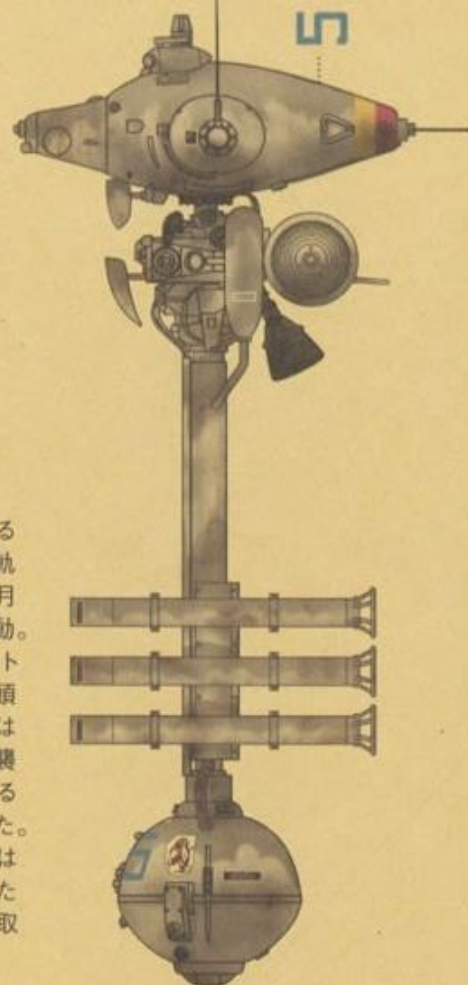
# NINJA

Pz.MNS466  
Paint &  
Marking



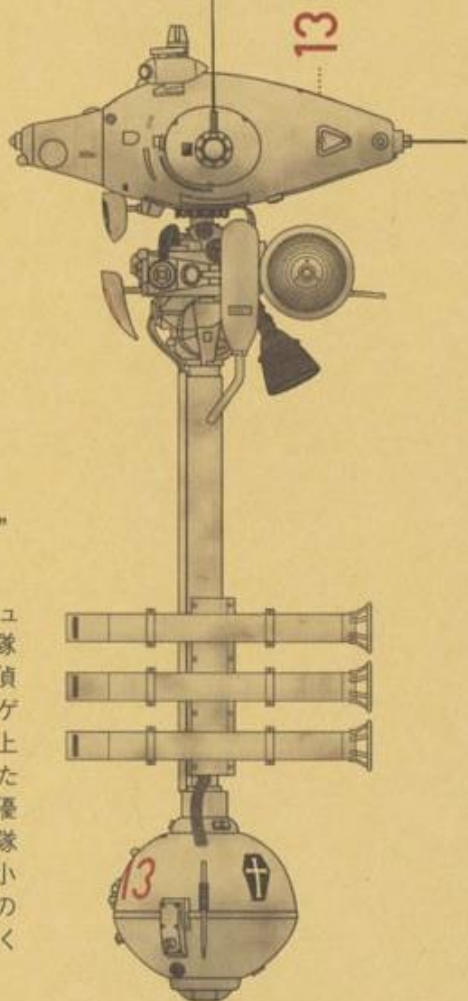
## 1 第55航空艦隊直率 第3中隊機

月面の哨戒対象地域に迎撃力を有する無人偵察機の要望が高まり、生産が軌道に乗ったクラッフェンフォーゲルを月面偵察機として配備する計画が始動。機関部を月面用に換装しダックスフントで採用された高性能索敵シーカーを頭部に装備したクラッフェンフォーゲルは反重力装置による高い機動力で奇襲攻撃を得意とし、「ニンジャ」と呼ばれるようになり、のちに制式名称となった。最初期型のアンテナスタビライザーはフリーゲのもの基部ごと使用されたが、その後、従来の反重力ユニットに取り付けられるよう改良されている。



## 2 第54駆逐航空団 “ヴェスベン・ゲシュヴァーダー” 本部小隊機

第54駆逐航空団“ヴェスベン・ゲシュヴァーダー”(スズメバチ戦隊)本部小隊機。NINJA1機とフリーゲ2機で強襲偵察を行う同小隊ではNINJAはフリーゲと同じ本体色で塗装されている。防御上の弱点だった機体前部を装甲で覆ったことでNINJAはトータルバランスに優れた無人偵察機となった。棺桶の部隊マークは分析記憶ユニットに貼られ、小隊長のクラウス・ブレンケ少佐が首元の装甲に描いた忍者の髑髏は評判もよくNINJAのトレードマークとなった。

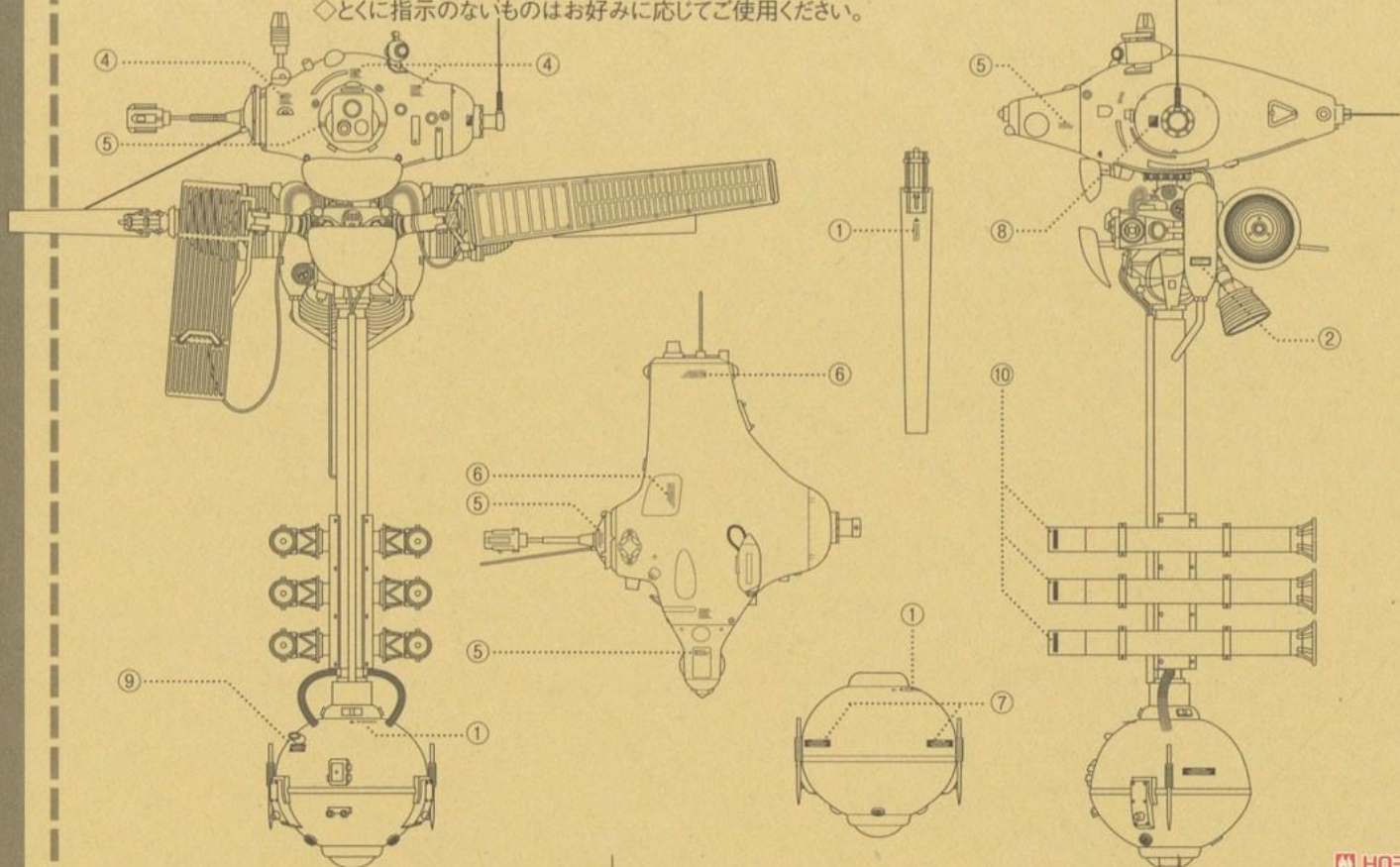


# DECAL

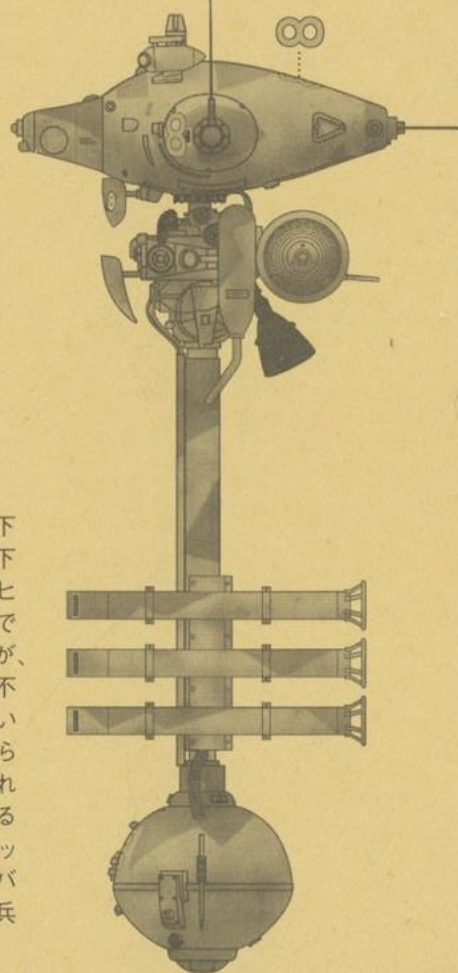
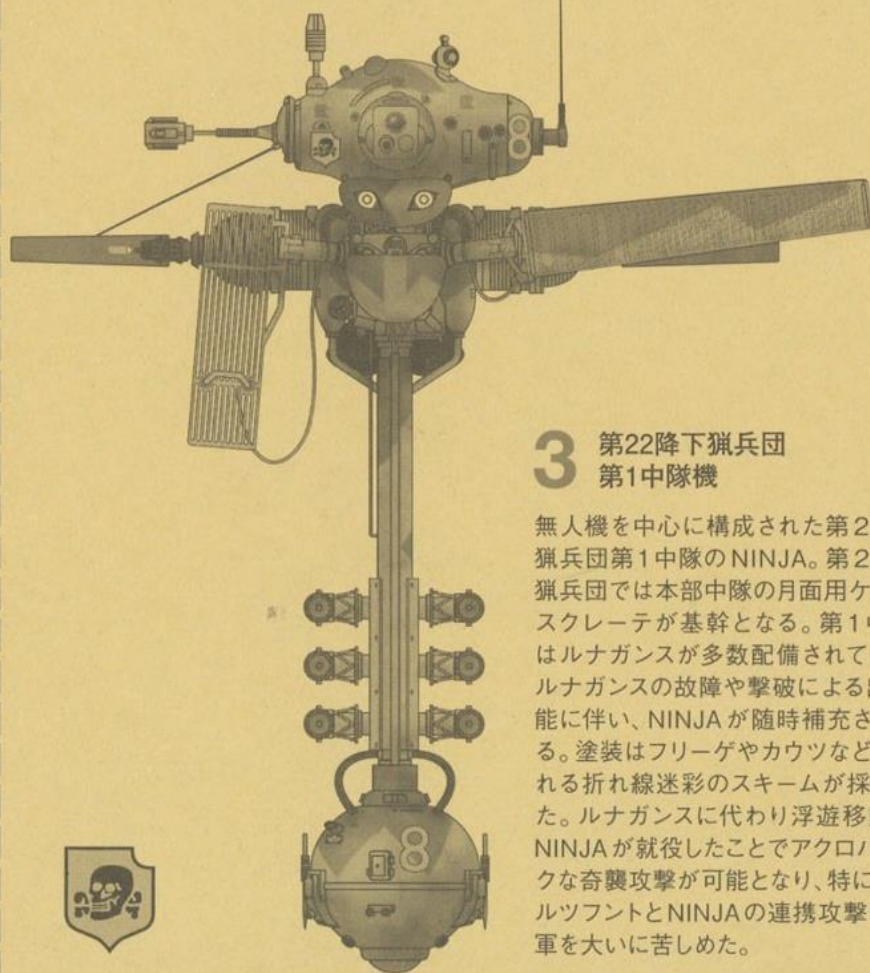
## デカールの貼り方

◇貼りたいマークをハサミ等で切り取り、水に約10秒間浸します。台紙の端を手で持ち、貼る位置にマークをスライドさせてモデルに移してください。ピンセット等でマークを濡らしながら正しい位置へずらしめます。布等でマークの内側に残っている気泡を押し出して定着させます。

◇とくに指示のないものはお好みに応じてご使用ください。



HOBBSY SEARCH



### 3 第22降下猟兵団 第1中隊機

無人機を中心に構成された第22降下猟兵団第1中隊のNINJA。第22降下猟兵団では本部中隊の月面用ケーニヒスクレーテが基幹となる。第1中隊ではルナガンズが多数配備されていたが、ルナガンズの故障や撃破による出撃不能に伴い、NINJAが随時補充されている。塗装はフリーゲやカウツなどで見られる折れ線迷彩のスキームが採用された。ルナガンズに代わり浮遊移動するNINJAが就役したことでアクロバティックな奇襲攻撃が可能となり、特にシュバルツフントとNINJAの連携攻撃は傭兵軍を大いに苦しめた。



HOBBSY SEARCH



